

伊豆大島土砂災害対策検討委員会報告書

平成 26 年 3 月

伊豆大島土砂災害対策検討委員会

はじめに

伊豆大島では、平成元年度に策定された『大島総合溶岩流対策基本計画』に基づき整備が進められてきたが、計画策定後 20 年以上が経過し、優先的に整備を進めてきた溪流が概成したことから計画の見直しを図る必要がある。

このような状況のなか、平成 25 年 10 月 15 日から 16 日にかけての台風 26 号の通過により、伊豆大島は未曾有の豪雨に見舞われた。元町地区上流域の大金沢を中心とした溪流において、流木を伴った土砂流出が発生するなど甚大な土砂災害が生じた結果、多くの人命が失われた。

平成 25 年台風 26 号による土砂災害では施設整備率の比較的高い元町地区で甚大な被害が生じていることから、今回の土砂災害を踏まえた『大島総合溶岩流対策砂防計画』の見直しを図り、対策案を新たに検討する必要がある。

当委員会は、東京都より、伊豆大島で発生した土砂災害について、そのメカニズムの検証と対策の検討を依頼され、調査、検討を実施してきた。

本報告書は、

- (1) 平成 25 年台風 26 号に伴う土砂災害の発生メカニズムの分析
- (2) 伊豆大島における土砂災害対策の基本方針に関すること
- (3) 元町地区における土砂災害対策の基本計画に関すること

の 3 項目について、調査・検討結果をとりまとめたものである。

本報告書で提案する内容の実現に向けて、今後東京都が主体となり、国、町、住民が協力して対応を進めていくことを強く要請するものである。

また、本検討は、現時点で得られている情報を基に検討を行ったものであり、この後、新たな情報が得られた段階で内容を適宜見直すことが望ましい。

最後に、伊豆大島土砂災害で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りします。

平成 26 年 3 月
伊豆大島土砂災害対策検討委員会 委員長

鈴木雅一

目 次

1. 背景	1
1.1 自然・社会的背景	1
1.2 伊豆大島における火山砂防計画	10
1.3 次回噴火発生について	11
2. 土砂災害の発生状況	12
2.1 平成 25 年台風 26 号災害の降雨状況	14
2.1.1 降雨状況	14
2.1.2 土砂生産および流木生産状況.....	18
2.2 大金沢流域の土砂生産領域区分	24
2.3 土砂・流木の流下、堆積状況	27
2.3.1 土砂・流木の流下状況.....	27
2.3.2 土砂・流木の堆積状況.....	28
2.4 土砂災害の全体評価.....	34
3. 伊豆大島火山砂防計画の基本方針	36
3.1 伊豆大島における現行の火山砂防計画の整理.....	36
3.2 今回の土砂災害を考慮した今後の火山砂防計画の基本方針.....	37
3.2.1 火山砂防計画の方向性.....	37
3.2.2 火山砂防計画における土砂量・流木量算出の考え方.....	37
3.2.3 元町地区における対策方針.....	39
4. 大金沢における今後の土砂災害対策	40
4.1 今後の土砂災害対策の概要.....	40
4.1.1 火山砂防計画の前提となる基本量	40
4.1.2 ハード対策の概要.....	42
4.1.3 ソフト対策の概要.....	44
4.1.4 大金沢における土砂災害対策の実施スケジュール.....	44
4.2 ハード対策	46
4.2.1 土砂処理方針.....	46
4.2.2 施設配置計画.....	48
4.3 ソフト対策	54
4.3.1 警戒避難体制の整備.....	54
4.3.2 監視体制の強化	55
4.3.3 防災意識の向上（防災教育の充実）	55
4.4 大金沢における土砂災害対策実施上の留意点.....	56
5. 委員会検討の提案骨子	57

巻末資料